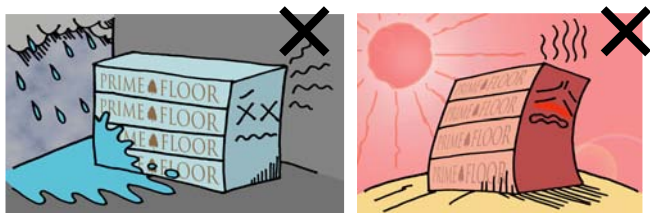


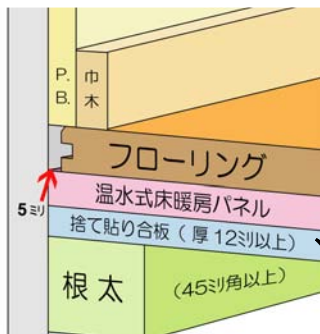
PRIME FLOOR 床暖房用 施工マニュアル

■ お取り扱いについて



- ・直射日光や雨を防ぎ、湿気の少ない場所に水平に置いて保管して下さい。
- ・施工前日には開梱して外気の湿度になじませて下さい。
- ・明らかなキズ・割れなどがある場合は、長尺のまま保管し、担当者にご連絡下さい。

■ 施工時の注意

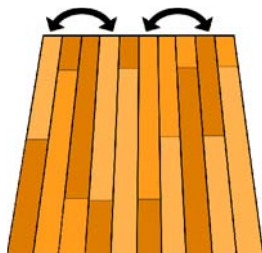


壁からは5mmほど隙間を空けて、巾木などで隠して下さい。

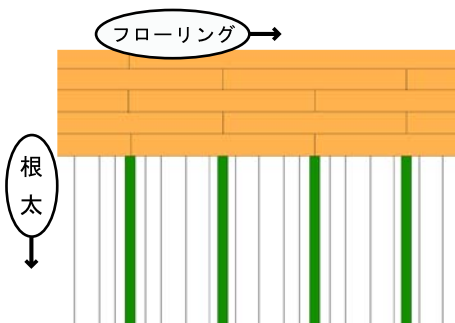
- ・床下は湿気が多いので、必ず換気口を設けて下さい。
- ・大引き：90mm角以上の乾燥材・910mmピッチ
- ・根太：45mm角以上の乾燥材・303mmピッチ
<根太上面はプレナーやかんなで仕上げして下さい。>
給排水の配管や空調ダストの位置には注意して下さい。

- ・捨て張り合板下地には厚み12mm以上の「耐水合板」(F☆☆☆☆推奨)を使用して下さい。段差ができないよう注意して下さい。また、合板の乾燥をご確認下さい。
- ・床下の湿気が多い場合は、捨て張り合板の下に防水シートを敷き込んで下さい。

表面単板は2mm厚のため、天然無垢材と変わらない仕上がりととなります。無垢材同様、若干の色むらがありますので、施工前に仮並べするなど、バランスよく貼って下さい。



フローリングは床暖房パネルの小根太(釘打ちスペース)と直行するように施工して下さい。



→ 裏面につく

当社推奨接着剤とフロー用ステープル(またはフローネイル)の併用で施工して下さい。

■ 接着剤は…

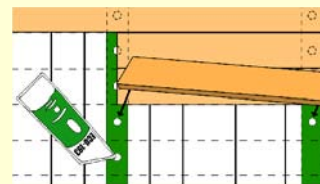
接着剤には横浜ゴム ハマタイト「ECU-193」(F☆☆☆☆)を推奨いたします。

- ・推奨接着剤を使用しない場合は、ウレタン系の接着剤を使用して下さい。
- ・木工用ボンドは硬化して床鳴りの原因となりますので使用しないで下さい。
- ・仕上げ後の表面に段差が出来ないように接着剤の厚みには注意して下さい。



● 小根太入り温水マットの場合

小根太の上面部に1cm程度の粒で少量充填して下さい。



※ それ以外のハードパネルの場合

フロー材裏面中央部に塗布して下さい。

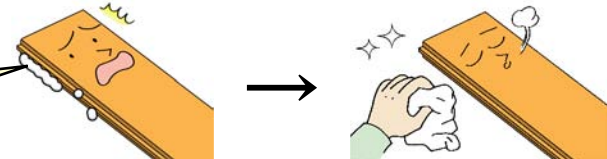
接着剤は床鳴り防止が目的ですので、量は気持ち少なめで!



! 接着剤は、くれぐれもフローリングのサネ部に流れ込まないようにご注意下さい。

サネ部に接着剤が入り込むとムラ隙の原因となります。付着した場合は必ずきれいにふき取って下さい。

特にサネの下部分は見落としがちなのでご注意ください。

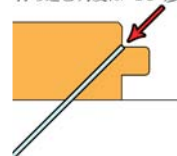


■ 釘打ちは…

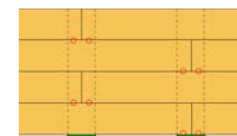
- ・サネ部への釘打ちは38mm以上のフローネイルまたはフロア用ステープルにて行って下さい(フローネイルの場合は下穴を開けて下さい)。
※フィニッシュは使用しないで下さい。
- ・釘打ちの間隔は303mmで、床暖房パネルの小根太上または釘打ちスペースにて行って下さい。
- ・約45度の角度で、左右にぶれることのないように正面から打ち込んで下さい。
*左右にぶれのある打ち込みでは、フローリングをしっかりと固定できません。
またパネル内の温水管に穴を開ける恐れがあり、フローア下での水漏れの原因となります。



打ち込む角度は45度



左右にぶれない



小根太入り温水マット上の縦の継ぎ手は必ず小根太上で行って下さい。

※掃きだしサッシ際での収まりでは、結露水が木口面に浸透することがないように、サッシアングル内5mmほどの隙間をとり、コーキングを充填して下さい。ビス止めの際はフローリングに下穴を開けて下さい。

※施工後の養生に使用する養生テープは、特に粘着力の弱い物を使用して下さい。

※仕上げのワックスにはリボス社製グラノスを推奨いたします。